

記者発表（配付）資料

平成24年12月14日

所属部課	館長	副館長	統括学芸員	担当	連絡先
萩博物館	湯本重男	樋口尚樹	清水満幸	清水満幸	25-6447

件名	企画展「 コマーシャル100年 in 萩～城下町近代化のあゆみ～ 」 の開催について
----	--

本展覧会は、萩地域における100年以上にわたる様々な広告資料を通して、江戸時代の城下町を起源とする「まち」の特徴ある近代化の歩みを再発見するものです。ポスター、新聞折込みチラシ、映画の上映案内、商店の宣伝用マッチや団扇など、永年の博物館活動で収集・収蔵された多数の資料をご紹介します。それらは、時代を反映した地域の経済活動を伝える好資料ですが、広告という性質ゆえに見ていて楽しいものであり、また接する人ごとに様々な記憶を呼び起こすものでもあります。

- 会期：**平成24年12月22日（土）～平成25年4月7日（日）**
会期中無休、年末年始も休まず開館
- 会場：**萩博物館** 企画展示室（山口県萩市堀内355 0838-25-6447）
- 開館時間：**午前9時～午後5時**（入館は午後4時30分まで）
- 開会式：**12月21日（金）15時00分**から（30分程度） 終了後に内覧会
プレス取材は14時から開始いたします。
- 観覧料：大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円
【団体割引】20名以上 20%引 【障がい者割引】20%引
- 展示構成：「西国の有力都市・萩」
「北浦地域の中核都市・萩」
「日本のふるさと・萩」
「萩・再発見」
- 展示資料数：210点（組パネルとした新聞折込みチラシ80点を含む）
企画展チラシ裏面に掲載した画像データをご用意いたします。

8. 主要展示資料 :

江戸時代の萩城下の町なみを想像させる鮮明な明治末年の**町なみ古写真**

- ・ 処分の一手手前で収録し、思わぬ再発見を生んだ**初公開資料**。

西国の有力都市萩の、ダイナミックな商いをうかがわせる**明治・大正時代の広告**

- ・ 100年前のハイカラな商船会社ポスター：4点
- ・ 美しくユーモラスな引き札(広告チラシ)：収録約200点のうち、22点を厳選展示

誰もがどこかに接点を見つけることができ、かつ懐かしさを覚える昭和30～40年代の**販売促進グッズ**

- ・ ホーロー看板：13点、地域商店の広告マッチ：30点、同広告団扇：10点

紙くずとして焼却処分されそうになっていた昭和28年(1953)前後の**新聞折込チラシ**

- ・ 大変な熱意の伝わる宣伝文や工夫を凝らしたデザインが目をひくチラシ：82点(パネル19点にまとめて紹介)
- ・ 地域の博物館がコツコツと収集・資料化した約300点の中から厳選、初公開

「古き良き伝統の残るまち」として、萩が全国的に注目を集め始めていたころ(昭和40～50年代)の**観光ポスター**(ディスカバージャパン・キャンペーンポスターなど)：15点(一挙公開)

佐々並おたからマップ

- ・ 見ているだけで楽しくなり、また訪ねてみたくなる、萩市佐々並地域の皆さんが地域の誇るべき資源を自ら調べまとめあげた地図：15点

8. ギャラリートーク : 12月22日、1月12日、2月9日、3月9日、4月6日(いずれも土)

午後2時～3時

学芸職員が展示内容を解説します。

無料(ただし別途観覧料が必要)

定員約20名(申し込み不要、当日開始5分前までに企画展示室入り口に集合)